

新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（第6回）  
議事要録

日時 平成22年9月14日（火）午後7時04分～午後9時04分  
場所 クリーンセンター3F 見学者ホール  
出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、高橋豊委員、村井寿夫委員、  
藻谷征子委員、塩澤誠一郎委員、石黒愛子委員、木村文委員、千綿澄子委員、  
島森和子委員、飯村雅洋委員、山崎君枝委員、平田昭虎委員、岡田敬一委員、  
渡部敏夫委員、事務局（木村浩クリーンセンター所長他）、  
コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊主管他）  
欠席 高石優委員  
傍聴者3名  
配布資料 次第、【資料1】施設整備からエリア整備の検討イメージ、  
【資料2】リサイクルプラザのイメージ化、【資料3】施設整備外部廻りのイメージ化、  
【資料4】周辺地域の会議・集会施設マップ、【資料5】周辺会議室リスト、  
【委員提出資料1】、【委員提出資料2】つくば環境スタイル

1. 第2回合同勉強会報告（白煙排出実証実験、煙突高さ検討について）

事務局より白煙実証実験、煙突高さ検討について検討した第2回合同勉強会についての報告を行った。

- ・ **委員** 電波の伝搬経路について確認したい。
- ・ **事務局** 建設当時は、煙突東側を電波が通っていたが、現在はそのような状況にないことを確認している。
- ・ **委員** 「新施設についての基準値の参考にした「ふじみ衛生組合」の基準値は、煙突100mということが住民との合意の前提である」という記述があるが、このまま理解してよいのか。
- ・ **事務局** この意見は一委員の意見である。Sox、HClの10ppmという基準値は、100mの煙突の実績値しかなく、100mと10ppmの規制値がセットであるという考え方である。事務局としては、規制値と煙突高さは別物として考えており、メーカーなどへのヒアリングでも同様の意見をもらっている。意見として受け止めたうえで、きちんと説明できるようにしていきたい。
- ・ **委員** ふじみ衛生組合（以下、ふじみ）は、くぼ地になっているという地形的な関係から住民が高くするよう要望したのではないか。事務局は土地の高低なども含めて、ふじみの状況をきちんと認識するべきである。
- ・ **委員** 3炉から2炉に減り、排ガスの絶対量が減ることになる。また、100mの煙突はかなり圧迫感があり、59mよりもさらに下げていくというようなことを考えるべきでは

ないか。

- ・ **会長** 未だ場所も決まっていないが、今と少しでも変わるのであれば見え方も変わってくる。ただし、一番大切なのは健康にどのように影響を及ぼすかという点である。

## 2. 施設整備エリアの検討

事務局より施設整備からエリア整備の検討イメージ【資料1】、リサイクルプラザのイメージ【資料2】、施設整備外部周りのイメージ化【資料3】について説明を行った。

その後、委員より「計画のテーマと目指す方向」「各施設の結びつきのイメージ」「公共施設の相互利用の仕方」【委員提出資料1】について説明を行った。「計画のテーマと目指す方向」として、「”エゴ”からエコへ」をキャッチフレーズに掲げ、新クリーンセンターの建設に合わせて周辺施設が連携し、再構築していくことの重要性を提案した。また、「各施設の結びつきのイメージ」では、クリーンセンターが受けるもの、出すもの、相互に利用しあうものを整理し、相互利用の可能性について言及した。具体的アイデアとして、駐車場利用、野球場の改善、クリーンセンターから排出されるエネルギー利用などが挙げられた。また、地域通貨を使った運営事例として、けやきコミュニティセンターで実施している「エト」の制度について紹介した。

また他の委員より「つくば環境スタイル」【委員提出資料2】について資料の説明を行った。大学や研究機関が協力して、環境にやさしいまちづくりを行っている「つくば」の事例を紹介があり、武蔵野市においても参考になるのではという話があった。

- ・ **会長** イギリス中部のドンカスターという町に13世紀の城とアースセンターがあり、それが軸になり、学習施設などが作られている。他の自治体では、このような委員の参加によるものはない。委員の提案を実行に移せるよう議論を進めていきたい。
- ・ **委員** 相互利用できなければ、同じことの繰り返しである。困難であるが、大きな仕組みが必要であり、「ここにこれが欲しい」だけでは議論が進まない。
- ・ **会長** 事務局に伺うが、ここでの議論が形になっていくというイメージはあるのか。
- ・ **事務局** クリーンセンターの監視役を担っている運営協議会を新施設においても発展させていくなかで、リサイクルプラザの運営も含めて議論できないかと考えている。こういった繰り返しの議論は何度かする中で、固めていき、ソフトにも言及したうえで、事務局として最大限議論を反映した資料を作っていきたいと考えており、委員にもより積極的に意見をいただきたいと考えている。
- ・ **会長** 委員会だけでなく行政とも連携しながらシステムを作り上げていきたい。これまでは結果ばかりを議論することが多かったが、武蔵野市ではそこに至るプロセスを明快にしており、委員自らの提案や情報収集などが出てきており、今後もこの武蔵野方式を貫きたい。施設の規模などを考えれば、膨らんだ夢が小さくなるということもあるが、とりあえず10年先のことに向けて、我々の英知を傾けていきたい。アースセンターのように、隠すのではなく自分たちの課題として考えていくことが重要である。

- **副会長** 運営というとPFIなどの議論が起こるが、行政が直接行うというのも力強くてよいと考えている。行政が運営しつつ、市民のサポーターともしっかりと組んだ形で、相互利用などを進めるというのも重要である。例えば、クリーンセンターである貢献をすると、地域通貨や特典があり、他の施設と連携していくというような方法である。直営は古いと思われがちだが、かといってNPOなどにすればよいというわけでもない。
- **会長** 西宮にEWC（Earth Watching Club）という組織があり、コミュニティ活動を行いながら、子どもたちがエコ活動をするそれがポイントになる。一方で年配の方は、地域の物語をきちんと語り継いだり、廃棄物の量を共有しながら削減していくなど様々な展開がある。企業の方でも酒屋など衣食住の関連業種が参加している。今では人数が増えているが、これをどう次の世代につないでいくか、社会の仕組みとしていくかを行政とともに考えることが重要である。
- **委員** 前回の「プラスの機能による付加価値とは」という提案から、「リサイクルプラザのイメージ化」【資料2】へ3つの必要項目を記載しているが、これを推進するために「地域力」が必要であるということが抜けており、入れて欲しい。先ほど運営の話があったが、ここの運営に地域に係るというのは当然のことであり、地域で行っている活動も何か取り入れるべきである。前回の「雇用の場作り」は、単に不用品を別の人間に使ってもらうということではなく、不用品から新しい価値を創出し、お金を得たうえで新しいいいものを作るという経済循環を考えている。また、そこにおいて周辺の小学生などがワークショップを通して意識付けられていくというようなことを考えている。私もいわきのホールの運営のお手伝いをしているが、施設の管理はPFIで実施し、事業運営は直営で実施している。そこでは、山間部の集落の住民が町へ出てくるのは難しいため、ホールが山間部へ出ていき、演奏会などを行い、そこで小学生が発表会をするといった催しが行われている。レイアウトについては、リサイクルプラザ、テニスコート、緑町コミュニティセンターといったコミュニティに係る施設は、できる限り関係を持たせてレイアウトするべきではないか。レイアウトを検討する際には、この施設がどのように地域力を高めるのか考えていただきたい。
- **会長** 配置はあまり気にする必要はない。デザインをやる人間であれば分かるが、幾らでもクリアできる問題である。しかし、必要な施設に漏れが無いこと、最低限何が必要なのかをしっかりと確認し、デザインでよいものにしていくことが重要である。
- **委員** エリア整備の検討イメージにおいて、歩道という形で考えられているが、安全に通行するためにも自転車レーンのようなものを設けられるとよい。
- **会長** 自転車問題については、言及していなかった。歩行者、自転車、車を周辺地域全体で考えていかななくてはならない。
- **副会長** 漏れがないようにという意味では、駐輪場も必要であると考えます。
- **会長** レイアウトは決まっているように見えるが、実際には何も決まっていない。しかし、地域全体における自転車のあり方を考える必要はある。

- ・ **委員** つくばでは町全体が自転車と人、車を分離している。武蔵野市が「歩いて楽しい道づくり」を提案しているが、市道 41 号などに自転車レーンを設けて、車を利用せずに済むという考え方をクリーンセンターに導入し、市全体に展開していくということが必要である。
  
- 3. その他
- 4. **事務局** 次の協議会では、周辺整備やクリーンセンターのテーマについて議論をいただきたい。また、「周辺会議室リスト」についても利用率を追加のうえ修正を行ったため、確認をいただきたい。
- 5. **委員** 緑町コミュニティセンターのロビーは「予約なしで使用できるためデータなし」とあるが、ここは予約が非常に多い。現在の集計には入っていないがロビーを予約して利用されるケースがとても多いということをお伝えしておきたい。
- 6. **事務局** 多目的で使用しているのは承知している。表現の仕方を指示いただきたい。
- 7. **委員** あまりに予約が多いため、調理室が空いていればそこで絵手紙などをやっているため、今後はロビーの枠を設けて予約を受け付ける予定でいる。
- 8. **事務局** 承知した。改めて修正等指示をいただきたい。
- 9. **委員** コミュニティセンターの会議室は足りないと言っている中で、「47%」という利用率は、実際には狭くて使えないためロビーを使っており、その数字は表れてきていないということである。
- 10. **事務局** 注記をするように修正する。また、第 8 回協議会を 11/29 (月) とさせていただきたい。
- 11. **委員** 「施設整備からエリア整備の検討イメージ」について、コミュニティセンターについて、「屋内スポーツの練習場や駐車場」とあるが、駐車場ではなく「駐輪場」である。また、同じ枠内の「駐車場はいつもいっぱい」についても「駐輪場」である。早急に修正して欲しい。
- 12. **事務局** 至急、修正を行う。  
会長より閉会挨拶。

閉会